

令和6年度補正予算案件「マリ北部、中部、南部における緊急移行ニーズへの対応」(IOM)の案件開始に係る式典

2025年5月20日、ラディソン・コレクション・ホテルにて、村田優久夫駐マリ日本国大使は、IOMが主導する案件「マリ北部、中部、南部における緊急移行ニーズへの対応」の案件開始に係る式典に出席しました。日本が200万米ドルの資金を提供する本件は、ガオ、トゥンブクトゥ、モプチ、シカソ、セグーの各地域において、避難民と受け入れコミュニティの脆弱性を軽減することに加え、避難民を保護し、生活環境を改善することにより、避難民の緊急ニーズに応えることを目的としています。

村田大使は、技術・職業訓練分野において、「新しいマリ（マリ・クラ）」の創建におけるマリへの支援に対する日本の確固たるコミットメントを再確認しました。

